

令和6年度使用小学校教科用図書
に関する調査報告書

教科名 家 庭

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	家庭
----	----

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東書	2	家庭 503	新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんなで つくる 明日をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能が身についたかをふり返ることができるように「成長の記録」のページを設けている。1単元で身につけたい知識・技能が分かりやすく、家庭での実践にもつなげられる。 ・感染対策の二次元コードがある。 ・作業する手(手元)のアップや姿勢の写真などが豊富で大きくわかりやすい。 ・複数ページで環境に関する内容を扱い、様々な面からSDGs 関連の学習ができる。 ・プログラミング的思考関連の内容として身の回りの電化製品を紹介している。 ・日本の伝統の紹介が豊富である。 ・「いつも確かめよう」で安全面や衛生面などの確認がしやすくなっている。 ・安全をよびかけるマークがよく目立ち、分かりやすく効果的である。 ・比較して考えられるように、写真やイラストが配置されている。 ・防災面で地震が起こった時どうすればよいのか書かれている。 ・インターネットでの買い物の注意や消費者センターのことが書かれている。 ・電気やガスが止まってもご飯が炊けるという防災面の記載がある。 ・料理の写真が鮮明で美しい。 ・男女共同参画の視点から、洗濯物干し・野菜をゆでる・アイロンがけ・風呂掃除を男性がするイラストがある。 ・ミシン学習の解説の文字が多く、動画の下糸の巻き方が、児童側からの見え方になっていない。 ・話し合い活動の視点が抽象的である。

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
開隆堂	9	家庭 504	わたしたちの家庭科 5・6	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜこの学習をするのか」や、「どうすればうまくできるか」など主体的に考えやすい内容になっている。 ・写真が大きく、見やすい。また、児童がつまづくポイントを想定して解説や動画がついている。 ・学習内容と自分の生活を結び付ける活動が随所に見られ、具体的に自分のできることを考えることができる。 ・他教科との関連も考えられており、実際の5・6年の生活に合っている。 ・防災の視点から整理整頓についての記述がある。 ・本文において、ひとつの単語が行をまたがないように調整されており、文の意味がつかみやすくなっている。 ・単元のはじめに学習のめあてがわかりやすく示されている。 ・日本の各地域のみそ料理やおやつ、世界のホットタイムについて紹介してある。 ・5年の単元が終わったあとに、「生活の課題と実践例」が掲載されており、学習したことを生かしたり深めたりできる実践にふれることができる。 ・キャリアインタビューのコーナーがあり、キャリア教育ともリンクしている。 ・ふりかえり「できたかな」が具体的で、目標を達成したかどうかのわかりやすい。 ・5年は「生活を見つめ、できることを増やしていこう」6年は「工夫して生かそう」と1年ごとのめあてが明確である。 ・家族を扱うページで、家族や友達と活動するところが掲載されている。 ・単元数が多い。

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

家庭

観点別評価

「◎」優れている

「○」標準的

「△」やや劣る

選定の観点	選定の視点		東書	開隆堂
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている家庭科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	○	◎
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	○
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	○	○
	5	学習への興味・関心を高めるとともに、学びを深めるために、ICT機器や二次元コードから参照できるデジタルコンテンツを適切に活用することができる配慮がなされているか。	◎	◎
	6	SDGsなど、今日的課題が取り上げられ、児童が興味・関心を持ち、主体的に学ぶとともに発展的な学習も行うことができる工夫がされているか。	◎	◎
内容	1	家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として自覚をもって生活することのよさを実感することができる工夫がなされているか。	○	○
	2	実感を伴って理解する学習活動や、自分の生活における課題を解決するために言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりする学習活動となるよう工夫がなされているか。	○	○
	3	幼児又は低学年の児童、高齢者など異なる世代の人々との関わりに関する内容が工夫されているか。	○	○
	4	日本の伝統的な生活について考え、日本の生活文化に気付くことができるような工夫がなされているか。	○	○
	5	持続可能な社会の構築に向けて、消費生活や環境に配慮した生活の仕方について考えることができる工夫がなされているか。	○	◎
	6	身に付けた知識及び技能などを日常生活に活用することができるよう、家庭や地域と連携を図ることができる工夫がなされているか。	○	○
	7	実習において、事故の防止及び安全・衛生に配慮できる内容となっているか。	◎	○
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	◎	○
	2	児童の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	○	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	○	○
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○	◎
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	○	◎